

出題のねらい

㊦は、有川浩著の小説『阪急電車』から出題しました。小説を読むことは、登場人物の状況を把握し、心情を読み取ることによって、読解力を高めますし、共感性や創造性を豊かにします。試験のような決められた時間の中においては、判断力や洞察力を必要としますので、どれほど多くの作品を読みこなしてきたかが問われることにもなります。今回は、中学生の二人が電車の席を友人の分まで取っておくという『名案』を、利用者の老人に叱られたことで、どう考えどう反応したか、その「思春期の繊細さ」を問いました。

㊧は、太田心平著「どっちもファッションでしよう？—ニューヨークで見聞きするスーパーフードとジャンクフード—」からの出題です。都市部でファッション化する食事について説明した文章です。畳み重ねるように示される具体例と、著者の主張を正確に区別できるかを問う設問となっています。



【解答】(50点)

問一	a 改札	b 揺	c 眼差	d 容赦	e 蹴	(2点×5)
問二	A カ	B オ	C ウ			(2点×3)
問三	先に駅に行って席を二人分取るという行動が老人だけでなく周囲の人に不愉快に思われていたから。					(8点)
問四	ア					(3点)
問五	X ア	Y オ	Z イ			(2点×3)
問六	老人が腹に据えかねて人前でミサを怒鳴りつける					(4点)
問七	ウ					(4点)
問八	P 素直	Q 難癖				(3点×2)
問九	エ					(3点)

【解説】

問一 漢字の書き取りの問題です。簡単なように見えても「揺」のつくりや「赦」のへんなど細かいところでのケアレスミスがありました。漢字は、字の持つ意味などを考えながら意識して書くように心がけましょう。

問二 オノマトペを中心とした副詞の空欄補充の問題でした。よくできていました。副詞は文章を柔らかくし、伝えたいことをわかりやすくする効果があります。表現力を高めましょう。

問三 解答は「行動」と「理由」の2点をまとめることがポイントでした。記述式問題は、問われたことについてやみくもに答えるのではなく、まず何について問われているかを整理することが大切です。高得点の鍵は、何を問われているかを整理することと、それが問題文中のどこに書かれているかをみつけることです。

問四 二字熟語「喝破」の意味を答える問題です。二字熟語は日常生活にも溶け込んでいて、正しく使えば自分の文章を引き締める効果もあります。普段から二字熟語を使った文章を書く心がけたいです。「喝破」は「大声で」「他の言を説き破ること」ですので、正解はアです。大声の要素のないイやウに惑わされた解答もありました。

問五 会話の空欄補充の問題でした。関西弁が効果的に使われた文章ですが、前後の流れから最も適当な会話文を選ぶことが大切です。Xは直後の「空気を読めないマユミ」の登場からア、Yはミサが席を立ったあと、直後には「だが一応は謝った」とあるのでオ、Zは少し難しかったようですが、直後の「まだふて腐れている」から、叱られて、相手のことを悪く言う表現を探してイを選びます。

問六 指示語「そう」の指示内容を答える問題です。文章中に使われた指示語は必ず指示内容を把握するようにしましょう。今回は解答欄「ということ」に合う形で問題文から抜き出す形式でした。解答の作り方も練習して慣れておく必要があります。

問七 心情を二字熟語で説明する問題です。傍線部④のあとには、「泣いてしまう」理由が丁寧に説明されていたから、それを二字熟語化していくと、あてはまらないものはウ「防御」でした。

問八 内容説明の文章の空欄を埋める問題です。ミサの最後のセリフが、「またあんなふうに難癖つけられてもイヤやし」で、これを見つめるのがポイントでした。

問九 文学史の問題です。ア細雪、イ白い巨塔、ウ夫婦善哉(めおとぜんさい)は大阪です。オ高瀬舟とカ檸檬(れもん)は京都で、エ坊っちゃんだけが愛媛県の松山での話でした。



【解答】(50点)

問一	a 宣伝    b 実践    c 極力    d 発酵 e 忌避感	(2点×5)
問二	ウ	(4点)
問三	流行	(3点)
問四	イ	(2点)
問五	ウ	(3点)
問六	イ・エ	(3点)
問七	実はさほど関係がないものも多いにもかかわらず、世界の流行の発信地と考えられるため、ニューヨークの名前が使われていること。	(8点)
問八	ウ→イ→ア→エ→オ	(5点)
問九	(第二) スーパーフ (第三) ジャンクフ	(2点×2)
問十	ア○    イ×    ウ×    エ○	(2点×4)

【解説】

問一 漢字の書き取り問題。aは「宣」を「専」とする誤りがあったものの、よくできていました。bでは「実戦」、eでは「危避感」とする誤答が多かったです。cとdは漢字自体は思いつくものの、正確に表記できない間違いが目立ちました。漢字の書き取りでは常用漢字から出題しています。日常的に漢字を読むだけでなく、書く習慣をつけることが、習得の近道です。

問二 品詞の問題です。(ウ)が補助動詞、それ以外は形容詞です。大変よくできていました。

問三 空欄補充。「ファッション」を熟語で言い換える問題です。概ねよくできていましたが、「食材」という誤答がいくつかありました。

問四 慣用句の問題。たいへんよくできていました。

問五 空欄補充。ウ「クール」(格好良い)が答えですが、3割程度の正答率でした。ア「カジュアル」は格式張らず、くつろいでいること。イ「マスト」は欠かせないこと。エ「ノーマル」は普通という意味です。ニューヨークのティーンにとって、ジュースやアイスクリームをやりわり断ることは、「当たり前」であり、また「格好良い」ことなのです。

問六 選択問題。たいへんよくできていました。

問七 記述問題。解答のポイントは3点です。①実際にはあまり関係がないが、②世界の流行の発信地と考えられているため、③ニューヨークの名前が使

われている、ということが書けていれば正解になります。三要素が揃っていない解答が目立ちました。

問八 並び替え問題。たいへんよくできていました。

問九 本文を、①全体について述べた部分、②スーパーフードについて述べた部分、③ジャンクフードもファッションである、と述べた部分の三つの意味段落に分ける問題です。意味段落は、形式段落を更に文章の内容ごとに分けたものです。「一九六〇年代から」と「ファッションは」で区切る誤答が目立ちました。

問十 問題文の内容に関する正誤問題です。イは、チアシードが女性に人気であることは本文中に書かれていますが、ポケについては書かれていません。ウは、炭水化物だからというだけでなく、栄養価においても、コメよりキノアやアマランサスの方が優れていると考えられているからです。